



上野原市

第 24 号

発行者 上野原市議会議長

服部 光雄

編集 上野原市議会だより

編集委員会

平成23年1月25日発行

議会だより

もくじ

議長あいさつ・ 議案審議(第4回定例会・ 第2回臨時会)	2・3P
常任委員会報告	4～6P
特別委員会報告	6・7P
意見書	7P
一般質問	8～15P
広域行政	15P
市民の声・議会活動・ あとがき	16P



四方津駅開業100周年記念セレモニー

議長あいさつ



服部光雄

平成二十二年第四回定例議会が十一月二十九日から十二月十四日迄の十六日間に亘って開会され

市長提出の十四案件(条例改正・補正予算それぞれ七件)と請願一件の全てを可決承認しています。

市長提出案件の中の一一般会計補正予算にはこれ迄の三年間、市を二分して争われてきた情報通信基盤整備事業の解決を図る一億五千万円が盛り込まれていましたが、色々な意見が発表された後、採決の結果一人の反対もなく全会一致で可決承認されました。

この問題についてはその後に行われた一般質問でも多くの意見・質問が出されていますが、いずれにせよ、後は当局の事

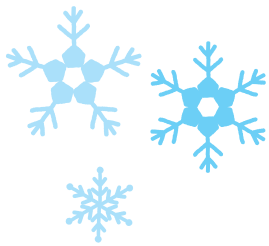
務処理に任されることとなります。

これで問題のひとつが解決し、議長として、誠に喜ばしい限りでした。

今ひとつの懸案である新病院建設についても早急な解決が望まれます。

ところで今の議員の任期は平成二十三年二月十二日で切れるため、本定例会が現議員にとつて最後の定例会となります。

この四年間、市民皆様方の議会に対するご支援・ご協力を深く感謝申し上げます。次期です。



第4回定例会

第4回定例会が11月29日から12月14日まで会期16日間で開催され、当局から提出された議案14件の他、請願1件、発議2件が審議されました。

議案の内容等は下記のとおりです。

案件名については3ページの議決結果等一覧表をご覧ください。また、常任委員会に付託された案件については各委員会報告を、意見書については7ページ、市政一般に関する質問については8～15ページをご覧ください。

議案の概要

一、議案第九十五号

人事院の勧告による国家公務員及び地方公務員の給与改定並びに昨今の経済情勢にかんがみ、市長及び副市長の期末手当を平成二十三年度から年間〇・二箇月引き下げるとの条例改正。

二、議案第九十六号

教育長の期末手当を、平成二十三年度から年間〇・二箇月引き下げる条例改正。

三、議案第九十七号

市職員の期末勤勉手当を年間〇・二箇月引き下げるなどの条例改正。

四、議案第九十八号

歳入の主なものでは、地方交付税、民生費や教育費に係る国庫支出金、総務費、民生費、衛生費等に係る県支出金、繰越金、市債等がそれぞれ増額補正されました。

歳出では、総務費の中で、自主共聴組合補助金やONU設置工事費予算を含む情報通信基盤整備事業費を増額しています。

民生費では、国保会計への繰出金や生活保護費等を増額。その他、消防費や教育費がそれぞれ増額補正されました。

五、議案第九十九号

保険給付費や共同事業拠出金の増額等の補正。

六、議案第一百号

後期高齢者基本検診、人間ドック等委託料を含む総務費等を増額補正。

七、議案第一百一号

介護保険運営委員会費の増額等を含む補正。

八、議案第一百二号

宅内排水設備設置工事費補助金等について増額補正。

九、議案第一百三号

秋山簡易水道費の施設管理費増額を含む補正。

十、議案第一百四号

建設改良費等の資本的支出の増額や、企業債の年割額変更に伴う補正。

十一、発議第六号

次の一般選挙から議員定数が二名削減され十八名になることに伴い、常任委員会委員定数の見直しを行うため、条例を改正するものです。

総務常任委員会、文教厚生常任委員会の委員定数をそれぞれ一名削減し、各常任委員会の定数を六名としました。

十二、発議第七号

教育の機会均等と教育水準が維持向上されるよう国に働きかける必要があり、意見書を提出するもの。(意見書は七ページに掲載しています。)



平成22年第4回定例会 議決結果等一覧表

種別	議案番号等	案件名	付託委員会	審議結果
条例の制定・改廃	議案第91号	上野原市立小・中学校設置条例及び上野原市教職員住宅条例の一部を改正する条例	文教厚生	原案可決
	議案第92号	上野原市立幼稚園設置条例の一部を改正する条例		
	議案第93号	上野原市税条例の一部を改正する条例	総務	
	議案第94号	上野原市ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	文教厚生	
	議案第95号	上野原市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例		
	議案第96号	上野原市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例		
	議案第97号	上野原市職員給与条例等の一部を改正する条例		
補正予算	議案第98号	平成22年度上野原市一般会計補正予算(第4号)		
	議案第99号	平成22年度上野原市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)		
	議案第100号	平成22年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)		
	議案第101号	平成22年度上野原市介護保険特別会計補正予算(第2号)		
	議案第102号	平成22年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)		
	議案第103号	平成22年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		
	議案第104号	平成22年度上野原市病院事業会計補正予算(第2号)		
請願	請陳第9号	教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を図るための請願書	文教厚生	採択
発議	発議第6号	上野原市議会委員会条例の一部を改正する条例		原案可決
	発議第7号	教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書		

第二回臨時会

第二回臨時会が十二月二十八日に会期一日間で開催され、議案一件が審議されました。

議案の概要

一、議案第百五号

情報通信基盤整備事業に係る光ファイバケーブル敷設工事の請負契約に関する議案です。

ONU未設置宅への光ファイバケーブル引込み及びONU設置工事と、光ファイバケーブルを引込む際に利用する電柱の建柱工事、新天神トンネルの建設に伴う光ファイバケーブルの敷設を含む工事を契約するにあたり、事後審査型条件付一般競争入札が実施されました。

その結果、株式会社関電工が三億千八百二十三万八千二百円で落札し、仮契約が締結されたので、本契約に際し、議会の議決を求めたものです。

平成22年第2回臨時会 議決結果等一覧表

種別	議案番号等	案件名	付託委員会	審議結果
契約の締結	議案第105号	光ファイバケーブル敷設工事(第4工区)請負契約締結について		原案可決

総務常任委員会報告

委員長 田中 英明

十二月七日に委員会を開催、付託案件審査と所管事務調査を行いました。

付託議案の概要

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

一、議案第九十三号

市民税の納期前全納報奨金制度を廃止するための条例改正。当制度は普通徴収のみ適用され、給与・年金からの天引きによる特別徴収には適用されず不公平が生じているため廃止するものです。

県内市の状況を見ると、すでに八市で廃止が決定。廃止後の収納率低下を心配する意見もありましたが、他市の状況や税の公平性を鑑み、審査を行い、採決の結果、全会一致で異議なく原案ど

おり可決すべきものと決しました。

次に所管事務調査として各種税金の滞納整理状況について税務課から収納体制や差押さえの状況等の説明を聴取しました。

滞納整理は、税の公平性を図る観点から今後引き続き取り組みを強化する必要があると。収納率向上に向け、更なる努力を求めました。

閉会中の総務常任委員会報告

閉会中の継続調査として、消防庁舎に関する事項について、十月十八日に静岡県焼津市消防防災センターを視察しました。

一般的に防災関係は市長部局ですが、焼津市で

は消防部局に防災担当を配置、消防防災局として組織されています。職員数は、消防署・分署を含め百三十名です。

庁舎の敷地面積は五千八百十二平方メートル、SRC耐震構造、一部床免震の四階建て、平成九年六月に着工し平成十一年三月に完成、同年四月に業務が開始されました。

消防庁舎は一階に災害対策本部、災害情報管理室、防災倉庫、食糧備蓄庫、防災意識向上の施設として防災学習室・防災シアターなどを配置。

二階には、消防防災局事務室や消防署事務室、また中・長期的な活動を視野に災害宿泊室や仮眠室が充実されています。

三階は通信情報司令室や焼津市財政部情報管理課事務室を配置、緊急時

でも業務に支障ないよう床免震構造としています。

四階には災害対策業務室兼多目的ホールが配置。非常時には災害業務室として多くの市職員が業務に当たるとのこと。

調査の結果、充実した施設はもとより運営面でも大変参考になりました。

特に、防災業務を消防部に配置したことにより施設が有効に活用され、緊急時には災害対策本部を始め一施設に関係職員が集合し職員間の連携強化や迅速な対応が図られています。また、通信指令業務は島田市と川根本町が焼津市に業務委託し、焼津市が受託する事務受託方式で共同運用されており、こうした取り組みにより維持管理費や職員の削減にも繋がっています。

今後、消防・防災業務

は、より高度で広範な対応が求められます。当市でも、その拠点となる新消防庁舎の早期建設に向け、消防・防災業務の連携や通信指令業務などの広域業務など、効率的な運用を視野に十分検討されることを要望しました。



焼津市消防防災センターの視察

文教厚生常任委員会報告

委員長 鈴木 敏行

本会議において付託されました案件について、十二月八日に委員会を開催し慎重に審査しました。

付託議案の概要

(議案名は三ページの議決結果等一覧表を参照)

一、議案第九十一号

大目、甲東、四方津及び沢松小学校の廃止と、平成二十三年四月の上野原西小学校設置に伴う改正。

二、議案第九十二号

平成二十三年三月をもって大鶴幼稚園を廃止することに伴う条例改正。なお、沢松幼稚園については当分の間は存続させ、時期をみて再度検討すること。委員から私立幼稚園の定員割れ状況や国の幼保一元化の動

向を見据え、今後一層進む少子化傾向を勘案し総合的な政策として検討すべきとの意見が出されました。

三、議案第九十四号

所得税法等の改正に伴い条例を改正するもの。当局提出の議案は採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

四、請陳第九号

教職員定数の改善、義務教育費国庫負担制度の堅持、教育条件の格差解消のための教育予算拡充の三項目を政府機関に要望するため、意見書の提出を求めた請願で、例年採択している経過も踏まえ、全会一致で採択すべきものと決しました。

閉会中の文教厚生常任委員会報告

閉会中の継続調査として、ごみ処理施設に関する事項について十月五日、北茨城市の向洋産業株式会社を視察調査しました。

当市の焼却残渣等は平成十二年から小諸市の民間処分場と、一部を向洋産業株式会社に搬出しています。最終処分場への搬出については搬出者の責任を問われることから、これまで議会で未調査であった向洋産業株式会社の現地調査を行いました。

現在の残容量は約四十万m³で、今後かさ上げや新たな工区の整備計画もあり、四十年から五十年は安定した搬入能力が見込まれています。

委員から、小諸市に比べ搬出単価も安く安定した搬入量を見込める

ことから、市の財政事情も考慮し搬出量を増やすべきとの意見があり、当局へ早急な検討を求めました。

次に、十月六日に水戸市役所のごみ減量化及び資源リサイクルの状況について視察調査しました。

水戸市では、ごみの資源化、有料化を進めるにあたり、平成十八年度から、市民が指定袋や処理券を購入することで、ごみの有料化を始めた。

年間四億円の袋の売上金は、三分の一ずつ、製造費や販売店への手数料、ごみの減量や資源化推進の新たな施策、新たに建設する処理施設のための基金などとし、明確なビジョンがありました。

取組みの結果、燃えるごみは有料化前と比較し十六・七%も減少し、翌年度以降も維持されてい

ます。また、減量のための工夫や資源化活動の促進など、市民のごみへの意識が高揚したことは有料制導入の大きな成果であることがうかがえました。ごみの減量と資源化は、循環型社会の形成に重要です。当局においても積極的に推進し、十分検討し対応されることを当局に要望しました。



北茨城市・向洋産業株式会社の視察

建設経済常任委員会報告

副委員長 杉本 友栄

十二月十日、所管事務の調査として、新天神トンネル及び山梨リニア実験線の建設の現況について現地調査を行いました。

新天神トンネルは、上野原市街地と秋山地区を結ぶ道路交通ネットワーク機能の強化を目的とした事業の一環で、現在の天神トンネルに代わるものとして鶴島地内で建設が進められています。

施工内容は、トンネル延長が六百五メートル、道路改良が七十七メートルの、計六百八十二メートル。工期は平成二十一年十月十三日から平成二十三年三月十五日まで。現在のところ順調に進められており、トンネル部分は、十二月一日に貫通しています。

工事は自由断面掘削機と大型ブレイカによる機械掘削が進められ、施工にあたっては、低騒音型の建設機械や、防音扉を導入し、周辺環境へも配慮されていました。

次に山梨リニア実験線大ノ入工区の新設工事について調査を行いました。

大ノ入工区は、全長千四百五十七メートルで、現地では、平成二十四年秋の完成を目指し、タナ沢橋りょう、ヒノ木沢橋りょう及び大平戸沢橋りょうの三つの橋りょうなどの工事が、急ピッチに進められています。

現場への工事車両のアクセスについては、現在ある林道を使用するなど、できる限り山林の負担にならない方法が採用

されています。

完成後は半年かけて仮設資材の撤去や、林道の修復整備等の現状復旧を行うことを確認しました。

今回は以上二箇所の見察調査を行いました。新天神トンネルについては合併時の新市将来構想にも掲げられており、完成することで地域内外の連携強化が図られ、初期の目的が果たされます。今後、計画的な生活道路整備を進め、利便性の高い道路網の充実について当局に要望しました。



山梨リニア実験線大ノ入工区の視察

病院建設促進特別委員会報告

委員長 尾形 重寅

十一月十六日に委員会を開催し、新病院の早期建設促進に関する事項について調査を行いました。

病院対策課から建設の進捗状況を聴取しました。

まず、設計上で指定管理者と意見のくい違いがあった点について協議され、血管造影室については二次救急医療施設という位置づけから、ハイブリッド手術室に配備する指定管理者の案で導入することとした。また、産科については医師確保などの環境が整い次第対応できるようにスペースの確保に留め、当初の設計には盛り込まないことで協議が整ったとのこと。

十一月十六日に委員会は開催し、新病院の早期建設促進に関する事項について調査を行いました。病院対策課から建設の進捗状況を聴取しました。まず、設計上で指定管理者と意見のくい違いがあった点について協議され、血管造影室については二次救急医療施設という位置づけから、ハイブリッド手術室に配備する指定管理者の案で導入することとした。また、産科については医師確保などの環境が整い次第対応できるようにスペースの確保に留め、当初の設計には盛り込まないことで協議が整ったとのこと。

市としては市民が望む病院に産科は欠かせないことから、環境整備に努め、将来的に稼働可能となった時点で改修し再開したいとのこと。

次に、進捗状況については工程表上一箇月程度遅れており、厳しい状況に直面しているとのこと。有利な補助金を活用するため、年度内に本体工事に着手する必要がある。当局へは、これ以上遅れぬよう誠心誠意努力され問題の早期解決に向け更なる努力を求めました。

新病院建設は予てからの市民の強い要望です。有利な補助事業により計画どおり建設が進むよう、非常に厳しい建設スケジュールですが、市民の期待に応え指定管理者や医師会とも連携を密に。着実に遂行されることを当局に対し強く要望しました。

情報通信基盤 整備事業検証 特別委員会報告

委員長
関戸 将夫

十一月十五日に委員会を開催し、情報通信基盤整備事業検証に関する事項について調査しました。今回は議員の任期満了を迎え、事実上最後の委員会となるため、委員の意見集約を行いました。当事業は、中止を視野に見直すとのことでしたが、先の九月定例議会において、ONUボックス未設置の千八百世帯へ合併特例債を活用して設置していく方針が出され、その調査費について、全会一致で可決されました。こうした経過を踏まえ、事業の重要性が認識されたと判断でき、今後当事業の推進を一層進め

ていくとする意見が多数を占め、一方で、委員会設置当初の検証項目がすべて終わったものでなく、当事業の検証はまだ決着をしたわけでないとする少数意見も出されました。

また、当事業は準備段階の不十分さが混乱を招く要因でもあったが、事業も進み、地デジの視聴については共聴組合や個人アンテナの選択肢も考慮し前向きに検討すべきとの意見も出されました。事業を推進するに当たり、U B Cの経営、番組の内容、コンテンツの充実など、その利活用は今後の重要な課題です。充実した事業展開のための利活用の検討と、テレビについてはアナログ停波が迫っているため、市民に支障をきたさぬようしっかりとした対応を当局に求めました。

今定例会で提出された意見書

教育予算を拡充し、教育の機会均等及び水準の維持向上を求める意見書

子どもたちに豊かな教育を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要なことです。

地方財政が逼迫している中、教育条件の自治体間格差が広がってきています。子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。しかしながら、義務教育費国庫負担金の国負担の割合が2分の1から3分の1に縮小されたことや地方交付税削減の影響、厳しい地方財政の状況などから、自治体において教育予算を確保することは困難となっています。

また、低所得者層の拡大・固定化が進み、家庭の所得の違いが教育格差につながってきています。自治体の財政力や保護者の所得の違いによって、子どもたちが受ける「教育水準」に格差があってはなりません。よって、政府においては、次の事項を実施するよう要望します。

1. きめ細かな教育を一層推進するために、少人数教育の実現を中心とする教職員定数の改善を図ること。
2. 義務教育の根幹である、教育の機会均等・水準確保・無償制の維持に不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
3. 教育条件の格差解消を図るため、地方交付税を含む国における教育予算を拡充すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成22年12月14日

山梨県上野原市議会

提出先

文部科学大臣	高木 義明 殿
総務大臣	片山 善博 殿
財務大臣	野田 佳彦 殿

市庁舎管理 委託費と 病院建設



杉本公文議員

一、市庁舎管理委託費について

庁舎部分の管理費は長年推定七千万円程で、現在は約四千五百万円に減額されたが大月市や都留市は同規模で一千万円台であり当市はまだ高額すぎる。しかし、本年度に長期契約をしてしまつて削減はできるのか。

【総務課長】

二年間の契約となつて、三年間の契約となっているが項目等によつて、単年度ごとに減額変更が可能と承知しています。

二、事業仕分けについて
市民や専門家など第三者の参加による行政をチェックする機能として
当市も事業仕分けを実施するべきではないか。

【企画課長】

行政改革推進法の基本理念においても導入検

討の促しがされています。

県内では甲府市や都留市で第三者の参加による取組みがされています。これらの手法や成果

等の状況を見ながら検討していきます。

三、病院建設について

開発行為の条件である水路の承諾を求め二回程、土地改良区においてお願いしていると聞くが、現在の状況と十三億円の交付金への影響は。

【病院対策課長】

造成工事に取りかかるには改良区の承諾がどうしても必要で六月頃から承諾して頂ける様に現在も努力しています。交付金については要綱の条件があり今年度中に着工すれば問題ありません。

【再質問】

市民の産科を望む声は大きい。産科医招へいと助産師診療への考えは

【市長】

産科設置は多くの市民要望があり、管理者の協会とも協議をする中で医師確保に努め産科病棟及びお産ができる体制作り而努力していきます。

四、上野原駅周辺整備

現時点での整備方針は北口は現状のまま、南口だけを改修し整備する計画であるが、南口を整備しても車の多数が利用すると推測される北口を拡張しなくては長年の問題解決にならないが。

【建設経済部長】

駅広場の整備は利用者の安全安心かつ利便性を考え整備検討委員会でも今後協議したい。北口の拡張についてはJR側からはハードルが高いとするが広場の利便性を考えれば必要と考えます。

検討委員会の方向が出れば粘り強く交渉します。

五、通信事業について

すでに地デジ化改修工事を実施したコモアや共聴組合・個人アンテナ受信にも、市が何らかの支援をすべきでは。

【企画課長】

コモアは個別協議として。現段階ではコモア・個人アンテナ双方とも補助対象外です。



市庁舎中央管理室

消防力強化は

ドクターヘリ、ヘリポート追加指定の進捗。
丹波山線調査費要請は
新病院、公共交通の進捗。



山口好昭議員

一、常備消防、非常備消防、消防力強化は。

【市長】

市民生活の安全、安心の負託に消防組織の教育体制の充実、想定外の災害発生の懸念に施設機材の整備に努力します。

二、ドクターヘリ、ヘリポート追加指定の進捗は

【消防総務課長】

九月下旬に市立四方津小学校グラウンドが東海大学ヘリコプター飛行場外離着陸場に指定されました。桐原小学校グラウンドの指定は離着陸場の基準に適合しているので許可の見込みです。

三、遅れている市道等インフラ整備で二十三年

度の道路維持予算の増額は。

【市長】

一般競争入札差金等

を柔軟に充て対応します。

四、県へ東道丹波山線、久野本 大垣外間、通称ムレの難所にトンネル化を視野に調査費の要請は

【市長】

トンネル化を含めた抜本的五十年のビジョンを作成すべく要請します。

【要望】

ムレは猪丸城山の西側に位置し、上部は岩山の絶壁の難所で、トンネルが最適な改良策、調査費を要請すべきです。

五、新病院建設の進入路

にある土地改良区用地の総面積及び同意の見通し、病院建設の進捗は

【病院対策課長】

新病院進入路の土地改良区用地は八十九m²です。同意が得られない為、県への開発手続きが出来ないので造成工事の着工

が遅延。工期の見直しを
県と協議、年度内本体工
事着工に努力します。

六、新病院建設、医療充
実は全市民の切なる願
いです。医師会との融
和を前提とする改良区
及び医師会への対応は。

【市長】

市立病院は市の唯一
の二次救急医療機関で
あり医師会と緊密に協
調したい。病診連携をは
かるべく新病院に地域
連携室を設置、機能を強
化します。

又、土地改良区は市の
発展に貢献した歴史が
あります。互いに理解し、
協調すべきと考えます。
七、公共交通の民間会社

への二十一年度の赤字補
填額、及びコミュニティ
バス運行の進捗は。

【生活環境課長】

二十一年度は三千八
百五十万円の赤字補填
であります。コミュニテ
ィバスの進捗は現在市
民へのアンケート調査及
び利用者へのヒアリング
を行い集計中で来年四
月の実証運行に向け努
力します。

【要望】

「モア地区は約二十年
間、一便の公共交通の乗
り入れがないことから都
心等利便なまちへ引越す
状況があります。利用者
のニーズ及び市民の利用
しやすい運行を要望する。



上野原丹波山線 久野本

新病院建設・
情報通信基盤整備・
包括支援センター



田中英明議員

一、新病院建設について

工程表の進捗状況

基本計画、基本設計の
突然の変更により協会側
と対立したが、結局もと
の計画に戻すことで決
着、予定より三ヶ月も遅
れてしまった。この間、
一番急がなければならな
い開発許可申請等がまだ
未申請であり、造成工事
に入れない状態である
が、交付金受領の条件で
ある来年三月までの本体
着工に間にあうのか。

【病院対策課長】

仮設道路予定地に土地
改良区の土地があり、条
件が整わずまだ合意が得
られていないので、諸手
続きが遅れています。

【市長】

現在多少遅れているが
交付金の関係もあり、職
員と一丸となって工期内

に完成するよう取り組み
ます。

周辺道路整備について

計画では一部未整備道
路が生じるが、開発許可
に支障はないか。

【病院対策課長】

造成工事区域外となっ
ているので整備対象には
入れていません。
旧上中グラウンドの代
替利用見込み

いつからグラウンドの

使用は出来なくなり、今
まで利用していたスポー
ツクラブ等の代替はどう
なっているのか。また、
このグラウンドはスポー
ツ関係ばかりでなく、子
供達の遊び場ともなっ
ていたのでその代替は今後
どうなるのか。

【教育学習課長】

十月から使用が出来な
くなっています。スポ

「ツクラブ等には上小、
上中グラウンド等の利用
や、足りない場合は他の
周辺小、中学校グラウン
ドを使用できるように調
整を図っております。

また、スポーツ団体や
市民の方々から要望が多
い、陸上競技ができたり
少年サッカーが四面くら
い取れる広いスポーツ広
場を作れるような用地、
くつろげる公園、子供が
自由に遊べる広場等の用
地確保を代替利用と併せ
考えております。

二、情報通信基盤整備事
業について

十一月二十九日の定例
議会初日に、ONU未設置

宅への設置予算が承認さ
れたので改めてアンケー
ト調査はしないのか。

【企画課長】

未設置宅への設置アン
ケートを送付します。ま
た、音声告知端末による
市の伝達を主眼において
いますので全体にくまな
く設置したいと考えてお
ります。

三、包括支援センターの
充実

近年核家族化や独居者
が急増し、高齢者の支援
対応が急務だと思いが。

【長寿健康課長】

困難ケースにつきまし
ては、職員が相談や現地
への訪問を実施します。



地域包括支援センターのスタッフ

病院建設・ 新天神トンネル・ 駅周辺整備について



鈴木敏行議員

一、病院建設について

新病院基本設計に産科及び心臓カテーテル検査が可能な血管造影室の設置の盛り込みは。

【市長】

将来的には考えているが、現段階では盛り込みません。

七月十六日、病院指定管理者より産科及び血管造影室の設置は困難と回答以後、充分時間があつたと思うが、この間市長自ら土地問題に関して改良区との折衝はどうか。

【市長】

副市長、幹部等に調整に当らせ、直接改良区の理事長と会ったのは十一月三十日の一回だけです。

【意見】

二十三年三月までに病院建設に着手しなければ、十三億六千万円の交付金

が得られなくなる。市長

自らが問題解決のため努力しなければ暗礁に乗り上げる。早急に行動すべきだ。

二、情報通信基盤整備事業について

ONU終端ボックスと

UBCの加入状況は。

【企画課長】

十一月三十日現在、ONU設置対象九千四百一世帯のうち、加入が七千五百五十一世帯、未加入が千八百五十世帯。UBC加入状況は、テレビ加入が三千九百三世帯、インターネット加入が千二百九十一世帯です。

地デジ改修の自主共聴組合への補助は。

【企画課長】

補助交付金の条件は、地デジ改修工事が完了し、地デジ視聴に関わる関係諸

法令に基づく届出を行った組合が対象です。

三、新天神トンネルについて

進捗状況及び取付道路の田野入側と鶴島側の状況は。

【建設課長】

十二月二十四日にトンネル貫通式の予定で、工期については、岩盤の影響で発破掘削へ変更のため約四ヶ月遅れです。

鶴島側は二十三年一月

に発注、田野入側は現在詳細設計中で県道、市道田野入線は用地測量、用地交渉後施工の予定です。

【建設課長】

完成、供用開始時期は。

トンネル本体は二十三年七月に完成、供用開始は二十三年度末、田野入側の取付道路は未定です。

四、上野原駅周辺整備事業の進捗状況及び今後のスケジュールについて

【建設経済部長】

現在「上野原駅周辺整備基本計画」を策定中で対象エリアや事業期間、事業費等を検討中です。

本年度、基本計画のパブリックコメントを行い

各地区で説明会、二十三年度測量地質調査、二十四年度公共施設等の設計、二十五年度事業認可土地買収、二十六年年度工事予定です。

【企画課長】

個別事業として今後協議をしていきます。

自主共聴施設の財政支援を七月末としているが施設申請の準備の他、東京タワーからスカイツリーへ

の変更に伴い受信点が変わる懸念があることから年内試験波の試行を考慮し年度末までにすることが望ましい。

【企画課長】

現在停波までとしたい

【企画課長】

旧町内以西は戸別アンテナで視ていたことから取り扱いが出来るが旧町内では取り扱いが難しいことから受信点調査の技術支援が必要になる。

一、情報通信基盤整備

自主共聴施設に対する

支援の規模は二戸以上と定めていることから相当数の申込みが予想されるが対応は如何に。

【企画課長】

相談窓口を設け設計業者の助言で対応します。

【企画課長】

コモアの自主共聴施設の財政支援を伺います。

【企画課長】

個別事業として今後協議をしていきます。

自主共聴施設の財政支援を七月末としているが施設申請の準備の他、東京タワーからスカイツリーへ

の変更に伴い受信点が変わる懸念があることから年内試験波の試行を考慮し年度末までにすることが望ましい。

【企画課長】

現在停波までとしたい

【企画課長】

旧町内以西は戸別アンテナで視ていたことから取り扱いが出来るが旧町内では取り扱いが難しいことから受信点調査の技術支援が必要になる。

ます。

旧町内以西は戸別アンテナで視ていたことから取り扱いが出来るが旧町内では取り扱いが難しいことから受信点調査の技術支援が必要になる。

受信点調査機器を貸し出し対応していきます。

【企画課長】

戸別アンテナ、共聴施設の行政放送について伺います。

【企画課長】

戸別アンテナ、共聴施設の利用の分布状況が決まり次第検討を進めていきます。

【企画課長】

ONU・音声告知端末

は技術の進歩により廉価で性能・機能の高いものが出てきているが対応について伺います。

【企画課長】

防災情報を第一に考え

【企画課長】

防災情報を第一に考え



新天神トンネル（鶴島口）

今後要求資料を出し一般競争入札を行います。

特に共働組合の受信点調査及び届出業務の体制について伺います。

【総務課長】

事務事業を十分な協議を行い人員の適正配置を行い対応します。

二、病院建設

三月末までの届出等の事務事業の進捗について伺います。

【病院対策課長】

十二月中建築設計、構造計算を経て消防届出を行い三月末に本体工事を行います。現在造成工事のための開発行為のところで遅れが出ているため

工程の見直しが必要になります。

【要望】

改良区との折衝のところで遅れが出ているため責任の所在がどこにあるか職員とともに進めるべきである。

三、スマートインター

スマートインター勉強会の進捗を伺います。

【建設課長】

七月の勉強会が開催され中日本道路(株)からサービスイリア(下り)のリニューアルが明らかになった。現在中日本道路(株)へ検討を依頼中で第三回目の勉強会は三月末の予定です。



音声告知端末

市内中心街の子供達の遊び場所確保について



尾形幸召議員

一、市内中心街に住む子供達に遊び場の確保を。

(旧上野原中学校グラウンドが新市立病院建設のために使用できない。子供達が徒歩で行ける遊ぶ場所を欲しがっている)

小学校低学年・高学年の遊ぶ場所がなくなる。子供達のこの現状をどう考えているか。

校外スポーツは新田の河川公園まで行かなければならないのか。

サッカーボールを蹴る。キャッチボールをする。どこでしたらよいのか。

子供達に野外活動をする場所を提供するのが大人達の責務と考えるが。

この問題の当面の解決策を考えているか。

【教育学習課長】

旧上中グラウンドを利用していた団体や一般の

づくりを真剣に検討する必要があります。

子供達の遊び場や野外活動をする場所等の不足を解消するためにも、大人たちの責務は大きい。

別の見方をすると「もみじホール」で発表する場所が出来たことよって、利用者が倍増し活発な活動に繋がっています。

一方、陸上競技のできる運動施設の他に、遊び場や野外活動をする場など広めのスポーツ広場、公園などの必要性について、多くの方々から要望があるのも事実です。

緊急的な対策として、学校施設の管理者である

学校長の許可に加えて、教育委員会で管理する市営運動施設の管理方法を組み合わせ、許可団体と

その他一般の使用許可を同時に認め、グラウンド

全面を有効に利用することを試みるかどうか。放課後や休日等で、これまで許可をしていない時間帯を許可なしでも比較的自由に学校や市営運動施設を開放できるかどうか検討します。防犯上の問題と学校開放の拡大については問題点を洗い出し、慎重に検討する事も事実です。本格的な代替施設の確保は中期的対策として取り組む必要があります。



河川公園(新田側)

鳥獣害対策・ 廃校の利活用・ まちづくり



長田喜巳夫議員

一、鳥獣害対策

全地域を対象とした中長期的な対策が必要です。農水省事業などの導入を図り抜本的な対策を行うべきである。現在の支援策及び本格的な対策は。

【経済課長】

防除ネットや電気柵の購入設置に当たり、二万円を上限に購入額の半額を補助しています。山梨県や神奈川県及び相模原市と対策会議を行い捕獲、駆除等を行っています。国の鳥獣害防止総合対策交付金などの活用を図り被害防止に努めます。

二、上小グラウンドの砂ぼこり対策

地域住民の快適な環境整備に努めるため、芝を張るなどの具体策を講じるべきである。

【教育学習課長】

平成二十四年四月を目途に低学年グラウンドの一部を、スクールバスの停車場及び児童の乗降場所として整備しますので、この事業の進捗状況に併せて検討していきます。

三、廃校の利活用

耐震構造の状況は

廃校となっている校舎は五校あり、今後廃校が予定されている五校と合わせ十校が廃校となりま

す。この内旧桜井小学校を除く九校が耐震補強の必要性があると診断されています。

利活用方法は

地域を活性化させる手段として、地域の皆さんと協議し、具体的な利用方法を決め、地域での有効活用や多くの人が利用

することが望まれます。全国の状況を見ると一番多く利用されているケースは社会体育施設です。次に社会教育施設、庁舎、体験交流施設などです。その他に文化施設、介護老人福祉施設、特産品販売加工施設などがあります。現在どのような取り組みがされているか。

【企画課長】

廃校は地域の貴重な資源であり専門的、多角的に利活用する必要がありますので、市役所内に横断的な検討委員会を設置しました。今後は先進事例を参考に幅広い利活用の検討を進めていきます。

四、まちづくりをどう進

めるか

町並保全に取り組んだ中仙道の妻籠宿、町並保全と山村生活そのものに価値を発見した愛知県足助町、戦後の日本における創造的なまちづくりの先進事例として有名な北海道の池田町のワイン造りの三つの事例をどう受け止めているか。

【企画課長】

地域には先人達が築き上げてきた伝統や文化、産業などがあります。農山村地域の活性化を図るため地域の資源と価値を活かす中で、地域と行政が協働で取り組むことが必要と考えています。



統合する沢松小学校

情報通信基盤 整備事業に ついて



尾形正巳議員

一、情報通信基盤整備事業について

この事業は当初、事業費十八億六千万円で開始され、最終的な事業費としては十三億九千万円と報告されている。

このうち、反対運動により増額した予算は、変更契約や幹線工事、引込工事の変更、自前電柱の設置などにかかった費用として、合計で一億三千八百五十七万九千三百五十七円にもなる。

最終的な事業費からこの金額を引くと十二億五千万円となり、当初の事業費より六億一千万円の節約である。

この十二億五千万円も、合併特例債で事業費の九十五%を借りられ、返済金の七十%は地方交付税として措置されるので、

市の負担は四億二千万円。また、UBCから事業協力金として毎年二千万円を二十年間受け取る約束になっており、これを差し引くと、結果的に二千万円でできたことになる。

ところが反対運動のおかげで先ほどの変更契約分や自前の電柱設置分の一億三千八百五十七万九千三百五十七円と、追加分の特例措置に一億二百万二千九百四円かかる。また前回と今回の議会で

提案された補正予算で二度目の特例措置を行うとのことだが、設計費に三千四百万円、特例措置工事費に約三億七千万円、自主共聴組合の助成に約三千万円計上されており、合計約六億七千五百万円となる。市は貴重な予算を反対運動により余計

に使ったこととなる。

この事業は暮らしを豊かにし、議会放送やテレビ広報、コミュニティチャンネルなどは既に多くの方が楽しんでいるし、インターネットも多く利用されている。奈良前市長が進めたこの事業は間違っていないかと確信する。公約を曲げて事業の継続を選択された江口市長に敬意を表したい。

市長はこの事業の今後をどう考えるか。

【企画課長】
事業にご理解を得られず、自前の電柱の建柱に至った箇所等があることは承知しているが、ご指摘



光終端装置 (ONUボックス)

の反対運動のためかどうかは個々に判断すべきもので、市としても説明説得に尽くしたか反省すべきと考えます。

混乱した状況を收拾するため、今定例会で市長も方針を示し、補正予算もご可決いただきました。ONU未設置宅解消のための工事が早期にできるよう、議員、市民の皆様のご協力をいただきたい。

【意見】

公約にとらわれず、市民の立場で、職員の見解も聞き、公平な市政運営を期待する。

今後市民のための情報施策の充実を願う。

文化振興について



長田助成議員

一、各地の伝統芸能は

【教育学習課長】

十二件が学術的に評価・継承されています。国の文化財の無生野大念仏市の文化財の新町・本町の祭囃子、猪丸、日原、大垣外、小伏、藤尾の獅子舞、田和古佐家神楽舞。未指定ですが無生野、原、板崎の神楽獅子。

二、石仏など数と場所は

【教育学習課長】

桐原、西原、秋山の三地区において、馬頭観音、地藏尊、庚申塔、二十三夜塔など、合計七百三十二基が確認されています。

三、各地の鎮守の杜、神社、お寺の数は

【教育学習課長】

鎮守の杜が七箇所、神社が八十九箇所、無住を含め寺院が五十四箇所

四、遺跡の場所と数は

【教育学習課長】

市全体で百二十五箇所。主のものは、大目の西ノ原古墳、甲東の野田尻遺跡、大鶴の大柵遺跡群、巖の牧野遺跡、島田の孤原遺跡、上野原の大間々遺跡、桐原の経場遺跡、西原の郷原遺跡、秋山の神野遺跡などです。

五、昔話の伝わっている集落の数は

【教育学習課長】

町誌などによると六十二箇所あり、大目大野貯水池近くの護良親王宝仏伝説「犬がめの宝」、甲東の「和見の七不思議」、大鶴鶴川宿の「古夕ヌキ」、巖地区松留の「龍宮淵」、島田地区白山橋近くの「隠れの宮」、上野原地区新井の「伊勢犬」、桐原沢渡の「半夏爺」、西原地区の「つね泣き峠」、秋山地

区無生野集落「雛鶴姫伝説」などがあります。

六、昔からの行事は

【教育学習課長】

正月、小正月行事や農家の仕事始めの「鍬入れ」、安産信仰の「塩釜さま」、山仕事初めの「山の神」、俵転がしなどがあります。

七、他にない街並みは

【教育学習課長】

旧甲州街道沿いの街並みや、養蚕のための、かぶと造りの屋根をもつ民家などがあります。

八、市の民俗資料の収集保管場所は

【教育学習課長】

秋山マス釣り場隣、旧四方津小学校、旧町役場

分庁舎、西原の旧県立高

校分校、上野原小学校の郷土資料室などで農機具、魚釣り道具、山仕事道具、芝居衣装などを保管。

九、図書館の数は

【教育学習課長】

本館と秋山支所内の分館の二箇所。その他移動図書館が五箇所あります。

【意見】

昔話の紙芝居などで小学生の創造力を養うことも良いし、新しく当市に移住した人に光ケーブルを無料で入れるなど、各施設を使った「文化の香り高い」街に人は集まると考えます。



無生野地区の大念仏

国保会計の広域化・病院建設・住宅リフォームについて



小笠原俊将議員

一、国保会計の広域化について

国では、後期高齢者医療制度の見直しの論議がされ、新制度として継続するとしています。そしてこれをチャンスに国保会計を県単位の広域化にしようとしています。当局ではどう考えているか。

【市民部長】

国の計画によると、後期高齢者医療制度は、平成二十四年度に廃止になり、翌年度から七十五歳以上の国保加入者は県単位の運営となります。時期は未定ですが、二段階として全加入者の県単位の運営を考えているようです。保険税の一律化と、市町村からの繰入制限により一人当一万五千円の保険税の値上げが推測されています。広域化

については、市民の健康増進の視点で考えて行かなければなりません。

【意見】

国保の広域化は医療費の抑制をし、一般会計からの繰り出しをやめさせ加入者負担を増加させる。国負担を元に戻すことが必要。一部負担金減免制度の実施を要求します。

二、病院建設について

病院建設は日本共産党が実施した市民アンケートでも市民の強い要望です。また産婦人科も切実な要求です。市長が産婦人科の開設を断念した経過を説明してほしい。

【病院対策課長】

基本設計をするにあたり、地区説明会、設計スタッフとの話など詰めた形で決めてきました。産科について地域医療振興

協会との意見の違いがあり再度話し合つ中で合意しました。

建設について、残る問題はアクセス道路のため市と医師会との対立で、高齢者のインフルエンザワクチン接種についても市民に迷惑がかかっています。医師会との対立を解消するためにも市長が政治生命をかけても市立病院の建設をするという取り組みが必要です。

【市長】

医師会との話し合いの糸口が付いていません。配慮が足りなかった部分があります。ぜひ市立

病院建設について理解をしていただきたい。

三、住宅リフォーム補助制度について

岩手県宮古市では、この制度を導入したことで市民の二割・二千二百件、総工費十億一千万円、二十四億円の経済効果を生み出したといわれている。市でも導入してほしい。

【建設課長】

予算上の制約があるので財政協議の中で検討します。

【要望】

旧秋山村時代の人づくり基金条例が凍結のままです。活用を早くするよう。



市立病院の待合室

ワクチン補助・病院建設と保育所



久島博道議員

一、国はヒブワクチン及び小児用肺炎球菌ワクチンへの公費助成を二年間おこなう事を決めたが、その補助対象年齢、対象者数、その他の法定外ワクチン接種の補助も含め見解をお伺いします。

【長寿健康課長】

子宮頸がんについては既に対応済ですが、ヒブワクチン及び肺炎球菌ワクチンは、県の説明会がこれからで、おたふく等の助成は今後の検討です。

【市長】

ヒブ、肺炎球菌ワクチン助成は国の制度を活用し、その他のワクチンは今後検討していきます。

【市長】

二、病院建設と保育所
旧市民会館跡地への院内保育所設置に関して、第二保育所との統合構想がありましたが、どうな

のか。正規・病児・病後保育所の早期設置を望む。

【福祉保健部長】

現状では厳しい。正規保育所はその在り方を審議会に諮っています。

【市長】

院内保育の調査では希望者が二名程度なので、設置は見合わせました。

三、高齢者の見守り

買い物弱者を支援する事業やヘルパーのミスで独居老人や要介護者宅への未訪問もあり、それを防止するための通信手段が必要。新たに千八百件にONUが設置される予定であり高齢者や障がい者を見守るシステムの構築に告知端末を利用すべ

きた。

【市長】

告知端末の利活用は今後考えていきます。

【再質問】

目や耳のご不自由な方へも配慮してこそ行政放送であり、今年のインフルエンザワクチン接種は面倒など苦情が寄せられているが、告知端末を使って放送すべきだ。

また、独居老人等が血液型、かかりつけ医などを記入、保管する医療情報キットは、他市でその効果は実証されている。

【福祉保健部長】

インフルエンザについての放送はこれから行政放送で流します。

情報キットは実証試験中で、今後検討します。

【再質問】

市長のマニフェストに

「市民主体の市政」とあるが、住民福祉の施策には、情報通信基盤整備事業を活用したサービスが重要であり、利活用のための協議を事業者と行えば。

【企画課長】

情報通信の活用は、事業者のUBCと費用対効果も考慮して検討します。

【要望】

当市の最重要課題は新病院建設と情報通信基盤整備事業の活用です。難航する重要課題に対して、誠心誠意の対話で局面打開のための努力を強く望みます。



上野原第二保育所

広域行政

山梨県東部広域連合議会

連合議会視察研修

十月二十一日、東部広域連合が運営する養護老人ホーム大鶴楽生園及び笛吹市御坂町にある社会福祉法人光珠福祉会養護老人ホーム光珠荘において視察研修を行いました。

光珠荘は、楽生園とほぼ同時期の昭和五十年に建設されましたが、近年、老朽化により多額の修繕費が掛かることなどから、建替えを計画し、今年六月に完成した施設であり、施設の概要や建設費、補助金などについての説明を受けました。

連合議会としては、楽生園の建替え要望書を広域連合長に提出するなど、建替えを促進しており、今後、大いに参考にするべきと考えています。

十一月定例会

十一月二十六日、十一月定例会が開会され、次の二案件が可決、認定されました。

- 一、山梨県東部広域連合大鶴楽生園基金条例制定の件

大鶴楽生園の今後のあり方については、ワーキンググループを設置して検討を進めているところですが、施設整備や円滑な運営のための費用に充てるため、基金を設置するものです。

- 二、平成二十一年度山梨県東部広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件

歳入総額二億一千二百八十八千円、歳出総額一億九千二百五十九万四千円、実質収支額は一千八百四十三万四千円でした。

東部地域広域水道企業団議会

東部地域広域水道企業団第三回定例会議事が平成二十二年十一月二十五日全議員出席のもと、提出された二議案を全会一致で可決しました。

一、議案第六号

東部地域広域水道企業団職員の給与の種類および基準に関する条例改正の件

労働基準法の一部改正に鑑み、職員の時間外勤務手当等の改正を行うものであり、休日勤務手当、夜間勤務手当の改正と、代替休日の新設です。

二、議案第七号

平成二十二年度東部地

域広域水道企業団水道事業会計補正予算(第一号)

業務予定量の変更として、配水管(老朽管)敷設工事費、一千四十一万九千円増額し、事業費合計を一億七千五百四十一千円に補正。

収益的収入及び支出は、水道事業収益を二十四万三千円減額し、十億七千九十二万九千円に、水道事業費を八百四十一万九千円減額し、事業費合計を十四億七千二百五十二万八千円に補正。

資本的収入及び支出は、収入を一千八百八十五万一千円増額し、合計金額を一億九千八百三十一万四千円に、支出を一千四百一十九万九千円増額し、合計金額を六億九百四十六万二千円の補正に。

企業団の経営改善として、委託料と人件費の削減に努力。増収策は給水人口の増加に努力。

市民の声

新天神トンネル貫通に思う

秋山地区区長会長

星野 五俊

秋山地区住民の念願でありました新天神トンネルが関係の皆様のご献身的なご努力により貫通の運びとなり、大変うれしく思います。

これにより旧上野原と旧秋山との交流が一層

密接なものになると思います。

そして都会などからの大型バスの行き来も可能となり、人々の文化交流も盛んに行われ市民の生活にも変化が期待されます。

従ってその為に秋山としても都会の人達にとっても魅力ある町づくりをすることが今後の課題になると思います。



新天神トンネル開通式

あとがき

今号にて、現編集委員での最後の議会だよりとなります。

省みますと、市民の皆様は、議会の内容をわかりやすくお伝えするため、段組を減らし、文字を大きくするなどの読みやすいレイアウトや、議決結果等一覧表の導入、記事と関連する写真を多く掲載するなどの取り組みを行いました。

反省点もありますが、二年間という委員任期の間、手作りの議会だよりを目指し、委員一同努力して参りました。至らぬ編集にも関わらず、変わらぬ市民の皆様に感謝申し上げます。

編集委員長 尾形 幸召
副委員長 田中 英明
委員 杉本 友栄
委員 長田喜巳夫
委員 鈴木 敏行
委員 山口 好昭

10月～12月 議会活動

10月

- 1日 赤い羽根共同募金街頭運動
- 2日 敬老会(大鶴)
- 3日 敬老会(西原)
- 5日～6日 文教厚生常任委員会視察(茨城県北茨城市・水戸市)
- 9日 西原ふるさと祭り
- 10日 体育祭り(大目・甲東・巖・秋山)
- 14日 山梨県市議会議長会第244回定期総会
- 16日 敬老会(上野原)
- 17日 西部地区民運動会
- 18日 国民文化祭に係る意見交換会
- 18日～19日 総務常任委員会視察(静岡県焼津市)
- 21日 山梨県東部広域連合議会議員視察研修(笛吹市) 第6回上野原市民ゴルフ大会表彰式
- 24日 第6回上野原市ウォークラリー
- 26日 北都留青色申告宣言の街推進委員会総会
- 27日 山梨県市町村総合事務組合議会定例会
- 30日 第5回文化祭式典
- 31日 第14回長寿の里まつり

11月

- 3日 第5回商工際 秋山文化祭
- 5日 小中学校音楽祭
- 6日 第9回あきっこ発表会
- 10日～11日 東部地域広域水道企業団議会議員研修
- 15日 情報通信基盤整備事業検証特別委員会
- 16日 病院建設促進特別委員会
- 18日 山梨県東部広域連合議会議会運営委員会 第2回上野原駅周辺整備検討委員会
- 22日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 23日 農林業まつり
- 24日 山梨県東部地区戦没者遺族大会
- 25日 東部地域広域水道企業団議会第3回定例会
- 29日 第4回定例会開会

12月

- 2日 一般質問 議会だより編集委員会
- 3日 一般質問
- 7日 総務常任委員会
- 8日 文教厚生常任委員会
- 10日 建設経済常任委員会
- 12日 四方津駅開業100周年記念セレモニー
- 14日 第4回定例会閉会
- 20日 議会だより編集委員会
- 28日 第2回臨時会 議会だより編集委員会

印刷/甲府市宮原町 608 1

株式会社サンエ印刷 11111

(055)2411111

